

Kビジョン放送番組審議会（2016年8月31日）

放送番組審議会（第19期第1回会合）では、『タウンニュースFRIDAY』、『あなたに会いたい～終戦の日特別企画「今、私が語ること」』を合評しました。

<合評番組>

■**タウンニュースFRIDAY（25分）**

2016年8月5日(金)放送

毎週金曜日18時を初回放送のニュース&情報番組。女性を視聴者ターゲットの中心に据え、周南地域のお店を紹介する「one tenpo（ワンテンポ）」、公民館講座など生涯学習サークルを紹介する「ホビホビ」、おすすめの麺料理を紹介する「イケ麺が行く」、視聴者が投稿した弁当の写真を紹介する「お弁当コンテスト」などのレギュラーコーナーを中心とした構成です。月に2回程度、18時の初回放送分を生放送とし、話題のスポットと中継を結び、生放送ならではの内容も伝えています

■**あなたに会いたい 終戦の日特別企画「今、私が語ること」（25分）**

2016年8月15日(月)～21日(日)放送

4月よりこれまでの対談形式から、ゲスト単独のインタビューを中心に普段の活動の様子などを盛り込んだ内容の番組にリニューアルしました。

終戦の日特別企画では、放送エリア内に住む戦争体験者のインタビューを3週にわたり放送しました。今回の視聴分は、1945(昭和20)年の「徳山大空襲」を体験した兼弘富士巳さんに、空襲当日やその後の町の様子や気持ち、戦争を知らない世代に向けたメッセージなどを語っていただきました

<合評内容>

■タウンニュースFRIDAY

- ・スタジオでの女性ふたりのくだけた会話と、視聴者に向けた丁寧な会話とのギャップがあるように思う。各コーナーが単独で独自のカラーを持っているので、スタジオトークでそれらを紹介し繋いでいくのがスムーズでないように感じる。
- ・「ホビホビ」（公民館サークル等の紹介）では、受講生にアクションをさせているが、緊張して表情が硬いのと、やらされている感が強く出てしまうのが気になる。
- ・女性をターゲットにした番組だが、見てみると男性が見ても役立つ情報もあり、何をもって女性をターゲットにした番組を指しているか分かりにくいと感じる。情報は豊富だが、コーナー数が多く、まとまりのない感じがする。
「ホビホビ」は対象エリアが広いので、独立した番組として放送した方がよい。
- ・ほのぼのとした番組で、ローカルに徹した作りが好印象に感じる。内容はとてもよく、Kビジョンでしか見られない番組だと感じた。
スタジオの雰囲気は、視聴者に親しみやすさを出すことを目指すのか、きっちりした作りをめざすのかバランスが難しいと感じた。
- ・「ワンテンポ」（お店紹介）は1回に紹介する店を1つに限定せず、2～3つの店を紹介してもらえると人に薦めやすい。
等のご意見をいただきました。

■あなたに会いたい 終戦の日特別企画「今、私が語ること」

- ・字幕による解説がいいタイミングで出ていて、番組を見ながら兼弘さんが話すことの意味が伝わってきたと感じた。複数台のカメラを使って、いろいろなアングルで相手の表情が見られるとさらによかった。
- ・市民の戦争体験談を聞く機会はとても少ない上に、リアルな言葉で耳に入ってくことに衝撃を感じた。当時のもので何かひとつでもテレビに出せると、よりリアリティーさを出せたのではないか。いま、戦争を体験した世代が少なくなっていく中で、これからどうやって子どもたちにこうした話を聞かせていったらよいか考えさせられた。
- ・ゲスト（語り部）の話を語る映像で見せる方法はよいと感じた。当時の資料映像や画像をはさむ番組もあるが、こうした演出を加えず、淡々と語る様子が心に響く番組になっている。
- ・地域のテレビ局の役割には、①地域に特化した情報を伝えること、②地域の記録残すことがある。Kビジョンだからこそできる地域の記録に努めてほしい。
等のご意見をいただきました。

出席者は、末岡康義委員長、なかはらかぜ（書面提出）、原田幸雄、増野睦子、小田佳希の各委員、

社側から杉田昌士代表取締役社長、矢田民也専務取締役、ほか放送制作部員4名でした。